



夢洲における大阪・関西万博の工事着手までに行われる大阪港湾局の工事による環境損壊を不当とする住民監査請求書を提出

- 大阪・関西万博の環境影響評価準備書に関する市長意見では博覧会協会に対して「工事着手までに、ロードマップを作成し、湿地や草地、砂れき地等の多様な環境を保全・創出すること」と言及されている。
- しかし、これに先立って行われる大阪港湾局の地盤改良工事によって、この環境の損壊が進んでいる。
- 大阪自然環境保全協会では、これら大阪港湾局の当該工事を即時に中止し、市長意見に基づき工事方法を検討し直す事などの措置内容が必要であると住民監査請求した。

大阪市夢洲（ゆめしま）で計画されている2025年日本国際博覧会の環境影響評価準備書に関する市長意見が、令和4年2月9日に2025年日本国際博覧会協会へ出された。

しかし、大阪港湾局が進めている地盤改良工事によって、博覧会協会が工事着手する前に、市長意見で博覧会協会に求めた配慮すべき環境の損壊が進められている。

この港湾局の地盤改良工事を不当として、公益社団法人・大阪自然環境保全協会（ネイチャーおおさか、会長：夏原由博）は、令和4年4月7日に住民監査請求書を大阪市行政委員会事務局に提出した。

添付資料

大阪市職員措置請求書「大阪市長に関する措置内容の要旨」

収受・令和4年4月7日大阪市行政委員会事務局

参考情報

2025年日本国際博覧会環境影響評価準備書に関する市長意見

令和4年2月9日

■ 本リリースに関するお問合せ

公益社団法人・大阪自然環境保全協会 夢洲生きもの調査グループ 垣井清澄

Email: yumeshima@nature.or.jp Tel: 06-6242-8720（協会）